

令和 5 年度 地域包括支援センターの重点事業について

重点事業：「地域ケア会議の推進」

(選定の趣旨)

今後、独居高齢者や認知症高齢者の増加により、地域で課題を抱え困っている高齢者が増えることが予測されます。すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目標とした地域ケアシステムの実現のため、地域ケア会議の推進は重要となります。

令和 4 年度地域包括支援センター事業評価では地域ケア会議について、昨年度と比べ改善が図られているが、各地域包括支援センターでは会議の充実を図りたいと考えていることから昨年度から引き続き「地域ケア会議の推進」を重点事業としたい。

(目標)

- 1 個別課題の解決とネットワーク構築を図るため、必要な関係者を招集して、地域ケア個別会議（ご近所支え合い会議）を開催する。地域ケア個別会議は、随時必要により行うが、年 3 回以上の開催を目標とする。
- 2 担当圏域における地域課題の共有と対応策の検討等を行うために、民生委員や地区社会福祉協議会等関係者を招集し、地域ケア推進会議（担当圏域会議）を年 1 回以上開催する。
- 3 市が定期開催する地域ケア個別会議（課題支援型・自立支援型会議）や地域ケア推進会議に参加して、事例の提出の他、助言、記録など会議運営の補助を行う。また、地域包括支援センター連絡調整会議では、各地域包括支援センター職員が事例検討の議事進行を行い、会議運営の技術向上を図る。

(参考) 過去の重点事業

令和 4 年度 地域ケア会議の推進